

創立70周年記念展

日本習字創立の地



日本習字 創立70周年

やながわ展

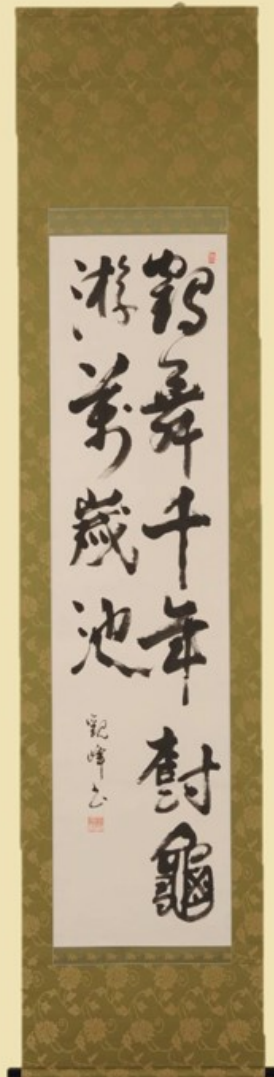
9月2日・3日 限定

観峰青年時代の希少な
書作品と創立当時の手本を展示

日本習字は、原田観峰（1911～1995、本名・孝太郎）が昭和28年（1953）に柳川市常磐町で「西日本書道通信学会」として創立しました。昭和30年に市内宮永町に事務所を移転、「西日本書道学会」と改称し、その後日本を代表する習字の通信教育団体に発展して現在にいたります。その足掛かりとなったこの柳川の地で創立時を振り返る展覧会を開催します。どうぞご高覧ください。



宮永町の事務所での作品添削風景 正面が原田観峰（昭和30年頃）



原田観峰 草書五言対句軸（昭和35年頃）

会期：令和5年9月2日（土）・3日（日）

10時～17時 ・ 10時～15時30分まで

主催：公益財団法人日本習字教育財団

後援：柳川市・柳川市教育委員会

同時開催：第2回日本習字えいせい会合同作品展（於イベントホール）

会場：柳川市民文化会館「水都やながわ」ギャラリー
〒832-0058 福岡県柳川市上宮永町43番地1

お問合せ：日本習字教育財団 福岡センター 蓮本 092-741-0336
観峰館 古橋 0748-48-4141

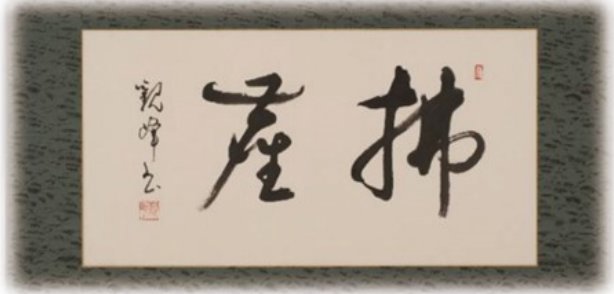


揮毫をする観峰 (昭和 30 年頃)

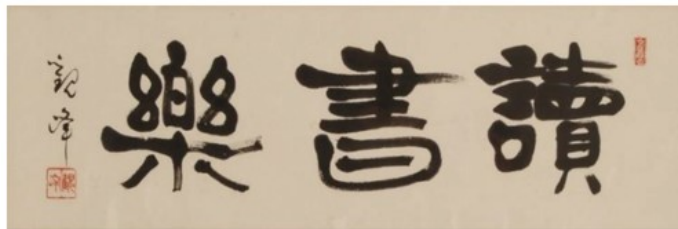
「日本習字」の沿革

- 昭和 28 年 9 月 1 日 「西日本書道通信学会」創立 (柳川市常磐町にて)
- 昭和 30 年 10 月 宮永町に事務所を移転
- 昭和 32 年 2 月 「西日本書道学会」に改称
- 昭和 38 年 3 月 福岡市大濠に事務所を移転
- 同年 10 月 「西日本習字教育連盟」に改称
- 昭和 41 年 9 月 1 日 「日本習字教育連盟」に改称
- 昭和 60 年 12 月 「財団法人日本習字教育財団」設立許可 (文部省)
- 平成 24 年 3 月 「公益財団法人日本習字教育財団」に認定 (内閣府)

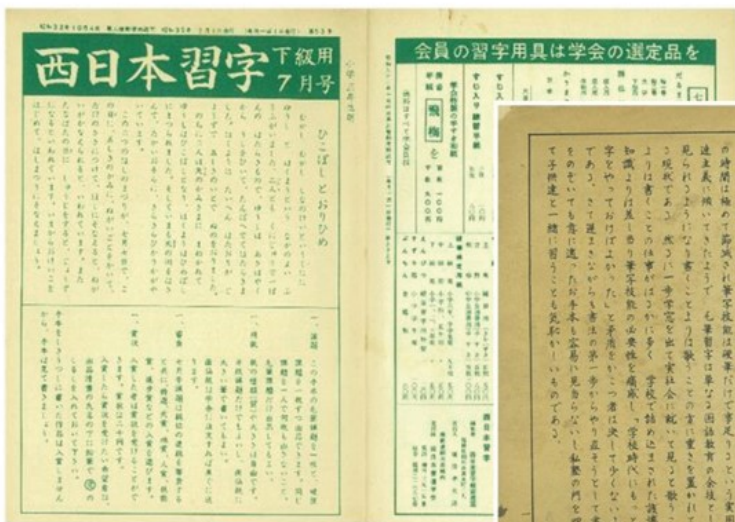
【主な展示作品】



払塵扁額 (昭和 35 年頃)

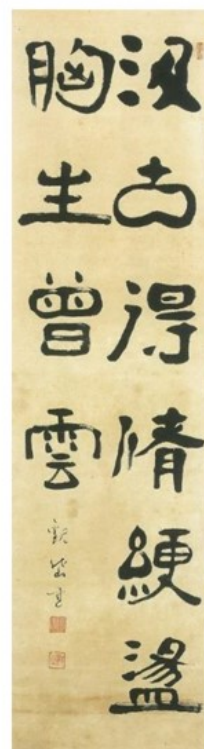


読書楽扁額 (昭和 36 年頃)



(上：昭和 35 年 7 月号
小学校低学年用手本
発行所に「柳川市宮永町」とある)

柳川時代の習字手本
(下：第 1 回配本昭和 28 年)



五言対句軸 号観岱 (昭和 25 年頃)

《会場へのアクセス》



柳川市民文化会館「水都やながわ」ギャラリー
〒832-0058 福岡県柳川市上宮永町 43 番地 1

西鉄柳川駅から柳川市民文化会館へのバスのご案内
堀川バス亀の井ホテル柳川行きに乗車、杉森高校前下車で約 10 分



アクセス

日本習字とは

創立者原田観峰の提唱した「正しい美しい愛の習字」を基本理念とする書道教育並びに書道文化の振興を図るとともに、国際交流を促進し、もって日本文化の伝承・発展に寄与することを目的としています。



日本習字 HP



日本習字の博物館
観峰館 HP

お問合せ：日本習字教育財団 福岡センター
蓮本 092-741-0336
観峰館 古橋 0748-48-4141